

# 9 教科書の即時訂正を求める

## 18 映画と対話の集い

柳条溝事件 (中国東北部への全面侵略の開始)

51周年を迎えて — 消された眞実の歴史

記録映画 語られなかつた眞実 「侵略」

上映



日本は「満州」を侵略、親日派の「満州人」を手先に使って抗日ゲリラたちを斬殺した。

この映画は、一九三一年柳条溝事件に始まる華北侵略に続いて一九三七年盧溝橋事件より始まつた日本軍国主義の中国本土への全面侵略の過程と、その泥沼化の中で行なわれた南京大虐殺三光政策(焼き尽くし、奪い尽くし、殺し尽くす)の事実を伝えるトヤユメタリードラマです。

静岡県の中学校教師の製作。

発

言

京大名誉教授

井上 清 氏

\* 在日朝鮮人

\* 在日中国人

9  
18

午後 1:30

A 217

(裏表部)

主催

集い実行委

# 消されし歴史の歴史

今から五一年前の一九三一年九月一八日は、日本軍国主義が、中国東北部に対する全面侵略を開始した柳条溝事件勃発の日です。以後一五年間にわたる日本の中国侵略は、南京大虐殺、三光作戦、七三一部隊など、その非道を極め、犠牲となつた中国民衆の数は、一千万人を越えるといわれています。日本は、同様の侵略戦争をアジア各国にもくり広げてこないました。

ところが、今年度の教科書検定では、例えば、この九・一八事件が「日本軍が華北に侵略」から「進出」に、華東を曲げて書くかえりせんとするなど、侵略戦争を美化・肯定する動きが明らかになり、中

國、韓國、朝鮮民主主義人民共和国、東南アジア各国をはじめ、国内でも厳しい抗議と訂正を求める世論が高まりました。

問題の解決を先送りする  
政府・文部省の意図は?!

政府は、八月二六日に「政府見解」を出したが、具体的な措置を「教科書図

書検定調査審議会」にわざわざも訂正内容の不明と、「問題の解決を先送りにし、本質(軍国主義の道を歩むのか?)・平和の道を歩むのか?」をあいまいにしようとしています。

また、九月四日に沖縄県議会全会一致で採決された、「沖縄戦での日本軍による住民虐殺の記述復活を求める意見書や、アイヌ史の記述改定の要求、そして教科書執筆者による「正誤訂正」の要求も、全く無視されました。

つまり、政府・文部省が、問題の解決を先送りにし、あいまいでやるのではなく、教科書検定を通じて「侵略」を「進出」に改めやせたりと等が、「誤り」であることを認め、軍国主義の道を歩んでほんとうなり」と国民が自覺することを懇望しているからに他なりません。

故に、今回の教科書問題を通じて、「アジアの人民と共に平和と民主主義を進めるのか?」・「アジアの私見となり、軍国主義の道に進むのか?」という、日本の進路が、今、問われているといえます。決して消えることのないアジアの民族の抗議と怒りに応えるためにも、そして向よりも、日本の進路を左右する事大に因縁といふ教科書問題の眞の解決のために、日本国民の意志と力で、政府・文部省に、侵略の眞の反省にたって教科書の即時再改訂を行なわせきしょ。

多くの首領の「18集会への御参加を

お願いします。

教科書の訂正を、求めらるて一の何が?  
協力を!!